

# むらみんだより

令和2年1月発行



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、台風で被災され、大変な思いをされた方も大勢あります。  
一日も早い復興と、元気を取り戻されることを心よりお祈りいたします。

今年「子年」。

陰陽五行説によれば『変化の兆し。新しき挑戦の年』だそうです。

〈夢眠さくら〉も、来年から4年生。

今期から始めた「機能別、住替え式施設」をコンセプトに、  
各ユニットが独自の生活環境を創り出す工夫をしています。

まだまだ足りない所が、随所に見られますが、  
出来ていない事が〈判る〉という事は、もっと良くなる前兆と、  
前向きに捉え、職員一同〈素晴らしき施設〉を目指し  
皆様の〈笑顔〉のために、元気一杯邁進します。  
宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



施設長 水野善朗

## ～ポジショニング研修～

昨年12月、職員を対象にポジショニングの研修を行いました。ポジショニングとは、快適に過ごす、安全に過ごす、効率的に過ごすために適切な姿勢を提供することです。今回はベッド上の寝ている姿勢でのポジショニングを、提供する側、される側の双方から体験しました。

それまでも、拘縮(関節がかたくなること)や褥瘡(床ずれ)の予防・治療のためや、姿勢保持のためなど、必要な方にはポジショニングを行っていましたが、実際に効果を体感したことで、その重要性をより感じられたようでした。

また、入居者様の中には、辛くても訴えられない方、辛いことに気が付けない方も多くいらっしゃいますが、その辛さ、不快に気がつけることが増えたという声もありました。方法や道具の検討などでは専門職とも協力し、より優しいケアの提供に努めていきます。

理学療法士 小吹文子



## 英語教室

施設内にて余暇の時間の充実を図る為に、不定期ですが英語教室を開催しております。「話せなくても大丈夫」とご入居者様をご案内させて頂いています。聞くことが刺激になっているようで「何言ってるかは分かんないんだけどね」と笑顔で交流されています。



### ～介護課～

昨年の4月から、皆様のご協力のもと機能別という形のユニット編成が始まり、1年が経とうとしております。

秋に実施した家族会の中でも、ご報告させていただきましたが、  
迷いながらも機能別であることを意識して日々のケアを実施してきました。  
今年度は外部の研修に参加したり、認定看護師さんの「糖尿病看護」  
「緩和ケア」などの新しい分野の勉強をしたり、介護職として出来る知識を  
増やすために、色々な分野での学びの機会も作ってまいりました。

4月以降、新体制にはなりますが、もう一歩進んだ  
「あなたの笑顔のために」を実現していけるように努めてまいります。

介護課 課長 紫草直子

### ～医務課～

令和2年となりました。本年も入居者様の健康管理に医務課一同  
心がけていきたいと思っております。

さて、これから最も寒く、空気も乾燥してきます。加湿せずに暖房を使  
うと乾燥がひどくなり、ウイルスが増えたり、乾燥性の皮膚炎をおこ  
したりします。

ただし高湿多湿の室内環境はカビの原因となりますので注意が必要  
です。湿度は50%を目標にしましょう。

医務課 課長 斉藤典子

### ～栄養課～

明けましておめでとうございます。日頃から温かいご理解とご協力を賜りありが  
とうございます。栄養課では、入居者様に喜んで頂けるお食事の提供を目  
指しています。晴れの日には見た目の華やかさと味のバランス、食器の選定  
など、安全面にも配慮したお食事の提供ができるよう取り組んでいます。入居  
者様の食事アンケート調査では、皆様のご意見を纏めて提供して欲しい  
メニューの反映など、ご希望に係えるよう献立の調整を行っています。

今後とも皆様のご笑顔が増えますよう努めて参ります。

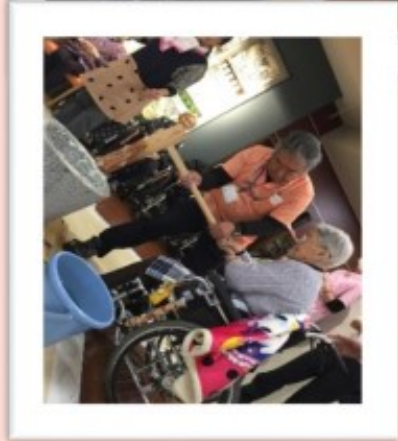
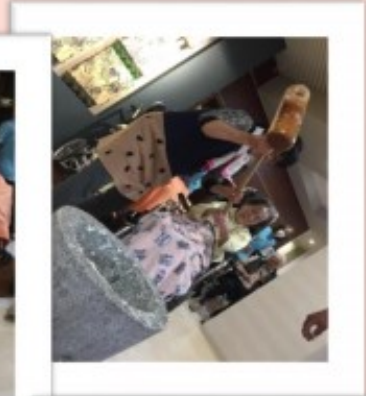
今年もどうぞ宜しくお願いします。

栄養課 高橋芙美子

# もちつき



今年は餅つきを三日に分けて  
開催を行ない、  
より多くのご入居者様に楽しんで  
頂けるようにしました。









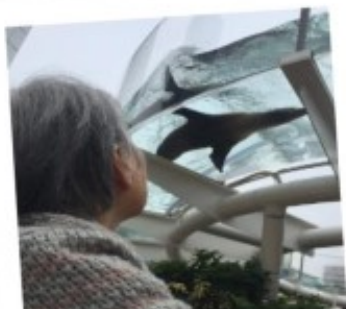
初詣





# ユニットの様子

どのユニットもクリスマス会は盛り上がりました！  
日々のユニットの様子を写真でご覧ください。



『お出かけ月間』として各ユニットで  
積極的にお出掛けを行ないました。

# 施設での取り組み

施設内での研修内容について  
簡易的ではございますがご報告させていただきます。

## ～身体拘束研修～

夢眠さくらでは年に2回身体拘束・虐待研修を実施しています。

身体拘束を事故防止対策として安易に正当化することなく高齢者の立場になって、その人の人権を保護しつつケアを行うという姿勢の下で、介護を必要とする高齢者の自主の支援に向けたサービスの提供を行なう事が求められています。

座学だけではなく実際に体験型の研修として、日常の生活の一場面を5分程度の寸劇にし介護される入居者様、職員とそれぞれ役になってもらいました。

グループワークの形で日々の見直しを行いました。参加者からは「体験型は、介護される側の気持ちがより理解できる」などの感想もあり今後も工夫を凝らし、身体拘束について施設全体で考えていきたいと思ひます。

生活支援専門員 岩切かず美



## ～感染対策研修～

感染対策研修は年に2回の実施が義務付けられております。6月には食中毒、この季節はインフルエンザとノロウイルス感染についての研修を施設では実施しております。

研修では介護課がメインで、嘔吐した時の対処方法を座学と実施で行いました。

今年は、各ユニットに常備しておく感染セット以外にも、感染で使用する備品については場所を決めて、誰が見ても分かりやすいようにマニュアルを見直してきました。インフルエンザやノロウイルスは一年中発生してもおかしくない感染症です。研修を重ねる事で焦らずに、感染を拡大しない対処方法が身に付くと思ひますので、毎年実施していきたいと思ひます。

職員も手洗い・うがい・検温して感染予防に努めてまいります。

介護課 紫草直子



# 各課よりご挨拶

## ～副施設長～

令和2年がはじまり、何日か経ちますが、今年もよろしくお祈りします。  
昨年末の事ですが、施設長を中心にお正月の門松づくりを行ないました。  
松よりも竹が目立つのに、なんで門松なんだろうと思って調べましたら、  
門松は歳神様をお迎えする目印であり、松には“祀る(まつる)”という意味が  
含まれていることとか、松は葉を落とさないことから長寿を象徴するからなど  
(竹も同じ意味を持つようです)、色々な意味、由来がある事を知りました。  
何気なく見ていたものにも深い背景があるんですね。  
皆様の今年一年の幸せのために、歳神様がきてくださったと思います。職員一同、気持ち  
を新たに、質の高いケアの提供に努めてまいります。

副施設長 堀 寛

## ～生活相談員～

新年あけましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願い致します。



「2020 Tokyoオリンピック」の年を迎えました。  
皆様と日本を応援して元気をもらっていきたくと思います。

相談員 課長 渡邊正枝

## ～介護支援専門員(ケアマネジャー)～

新年 あけましておめでとうございます。

特養におけるケアマネジャーは施設サービス計画書(ケアプラン)を作成しております。  
ご本人様が施設で自立支援に向けてどのような介護が必要なのかを計画していく仕事を  
行っています。

ケアプランを作成するにあたり、介護や看護、栄養や機能訓練の各職種との連携を図り、  
地域との関わりを持った生活が送れるようになることが求められています。

そのため、ご本人様が施設でどのような生活が送りたいのか、またご家族様がご本人様に  
施設でどのような生活を送って欲しいのかを聞き取り、ケアプランに盛り込んでいます。

ご面会に来られた際には、ご家族様からの本人に対するご意向をお伺いしていきますので、  
ご意見等をお聞かせいただければと思います。

また、ケアプランを作成した際にはご家族様の署名を頂くこととなっております。面会の際に  
署名を頂ければ幸いです。面会に来れない場合には請求書に同封させていただいており  
ますので、ご本人様のお名前と署名された方のお名前を記入いただき、施設に直  
接お持ちいただくかご足労をおかけいたしますが郵送にて施設にお送りいただければと思  
います。

今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

ケアマネ 尾高茂

# 元旦のお食事

新しい年の初めには豪華なお節料理を提供しました。  
食後には米麴の甘酒をお出しし、正月気分を味わって  
いただきました。

栄養課 下田拓也



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。  
今号の広報誌も写真を多く掲載させていただきました。  
ご入居者様が日々ユニットのスタッフとどのように過ごしているか伝わる誌面になっていれば  
幸いです。

広報係 藤井有子

特別養護老人ホーム

## 夢眠 さくら

むうみん

〒338-0836  
埼玉県さいたま市桜区町谷2-7-18  
浦和駅・中浦和駅より国際興業バス  
バス停「町谷」下車 徒歩1分  
☎ 048-826-6336

